

第16回 金融庁契約監視委員会の概要

1. 開催日時：平成26年6月11日（水）15時00分～16時30分

2. 開催場所：中央合同庁舎第7号館 9階 共用3会議室

3. 出席者：赤松委員長、石島委員、佐竹委員

4. 議題：平成25年度下半期に締結された契約について

平成25年度下半期に締結した契約(53件)のうち、各委員の抽出した11件（以下の8案件）について審議。

(1) 応札者（応募者）を増やすための取組み、契約金額の妥当性について

- ①金融庁ネットワークシステムの運用支援業務、金融庁行政情報化 LAN システムのクライアント PC リプレース
- ②金融庁業務支援統合システムの追付き開発、金融庁業務支援統合システムの運用支援業務
- ③EDINET の有価証券届出書の提出方式変更に係る改修等

(2) 類似契約案件において、落札率に差が生じている要因について

- ④「銀行監督者セミナー」に係る運営業務、「証券監督者セミナー」に係る運営業務

(3) 低い価格で応札してきた場合の契約履行の担保について

- ⑤リスク評価業務支援ツール（EUC）の開発
- ⑥出口対策の設計・構築

(4) その他

- ⑦金融六法の購入
- ⑧通信料（携帯電話（自動車電話、業務用電話））

5. 主な審議内容

(1) 応札者（応募者）を増やすための取組み、契約金額の妥当性について

- ①金融庁ネットワークシステムの運用支援業務、金融庁行政情報化 LAN システムのクライアント PC リプレース
- ②金融庁業務支援統合システムの追付き開発、金融庁業務支援統合システムの運用支援業務
- ③EDINET の有価証券届出書の提出方式変更に係る改修等

質問・意見	事務局からの説明
・ 応札者（応募者）を増やすため、業者が準備期間等を確保することができるようにするための取組みが必要ではないか。	・ 本件については、かなり長めの準備期間を設けたが、結果的に一者応札となった。引き続きどのような取組みが有効か検討していく。

(2) 類似契約案件において、落札率に差が生じている要因について

④「銀行監督者セミナー」に係る運営業務、「証券監督者セミナー」に係る運営業務

質問・意見	事務局からの説明
・ 2件を比較すると、旅行会社が応札者に含まれている方が低落札率となっていることから、今後は旅行会社も含めて幅広く入札の参加を慫慂してはどうか。	・ 意見を踏まえ、今後は旅行会社も含め幅広く入札の参加を慫慂していく。

(3) 低い価格で応札してきた場合の契約履行の担保について

⑤リスク評価業務支援ツール（EUC）の開発

⑥出口対策の設計・構築

質問・意見	事務局からの説明
・ ⑤は、公認会計士・監査審査会が検査等において用いるツールであるが、有用なものであれば、監査法人等の監査の質をもっと高めるためにも利用開放を検討してはどうか。	・ 検査手法に関するところもあるので、一概に監査法人等にツールの利用を開放することは難しいかもしれないが、日本公認会計士協会と情報共有できないか検討していく。
・ システム等を開発する場合、他府省と共同調達できないか検討し、必要に応じ見直すべきではないか。	・ 政府全体の共通プラットフォーム構築の動向も踏まえ、今後どのような対応が可能か検討していく。

(4) その他

⑦金融六法の購入

⑧通信料（携帯電話（自動車電話、業務用電話））

質問・意見	事務局からの説明
・ ウェブサイトで入札説明書、仕様書等の契約申込みに必要な資料を入手できるようにすべきではないか。	・ 問題意識を持っており、今年度中にどのような対応が可能か検討していく。

以上